



照値 $6.7 \pm 4.0\%$  [5]) を認めた。気管支ブラッシング標本およびBALFの細菌培養にて起炎菌は分離されなかった。拍動性結節病変は出血の危険性があり生検しなかった。

**診断：**拍動性気管支結節病変を伴った好酸球/好中球混合型のFBD

**治療および転帰：**第11病日に細菌培養陰性と判明し、FBDに対してプレドニゾン $1\text{mg/kg}$  内服 1日1回、サルタノールインヘラー $100\mu\text{g}$ の吸入療法(1日2回1スプレーずつ)を開始した。第39病日、咳嗽、喀血とも消失し、胸部X線検査にて浸潤影の消失、肺過膨張の改善が認められた。プレドニゾン内服投与を中止し、ステロイド吸入療法(フルタイド $100\mu\text{g}$  1日2回1スプレーずつ)へ変更したところ、第66病日に、発作性咳が再発し、プレドニゾンの内服投与を再開した。第94病日には咳嗽、喀血ともに認められず、胸部X線検査にて肺過膨張はさらに改善した。そのためステロイド吸入療法を中止し、内服によるプレドニゾン全身投与のみとした。現在治療開始10カ月が経過しているが、咳嗽および喀血なく良好に経過している。

## 考 察

今回、気管支鏡検査にて喀血を伴う好酸球/好中球混合型のFBDと診断した症例を経験した。ステロイド吸入療法では咳をコントロールできず、症状安定には全身性ステロイド投与が必要であった。本症例では気管支鏡検査にて拍動性気管支結節病変を認め、喀血との関連が示唆された。幸い、猫の気管支疾患の治療にて喀血も消失している。

FBDの管理にはコルチコステロイドの全身投与が主体とされている[1]。BALF中好酸球増加を認める猫喘息モデルにおいては1日2回のフルチカゾン吸入の有効性と安全性が認められている[6]。本症例ではBALF中好酸球増加があったがステロイド吸入療法の効果は認められなかった。

FBDに喀血や拍動性気管支結節を合併した報告は見当たらない。術前のAPTT延長や気管支動脈瘤の可能性を考慮し生検できなかったが、同一気管

支から出血が認められたことから、喀血の原因と推測される。

FBDの鑑別と診断には気管支鏡検査は欠かせない。今後、FBDにおけるBALF中好中球増加の頻度や治療反応、拍動性気管支結節病変の合併に着目し気管支鏡検査を積み重ねたい。FBDにおけるBALF中好中球増加と全身性ステロイド投与必要性には説明できる病態があるのかもしれない。

## 参 考 文 献

- 1) Bay JD JL: Feline Bronchial Disease/Asthma. *Textbook of Respiratory Diseases in Dogs and Cats*, 388-396 (2004)
- 2) Foster SF, Allan GS, Martin P, Robertson ID, Malik R: Twenty-five cases of feline bronchial disease (1995-2000). *J Feline Med Surg*, 6,181-188 (2004)
- 3) Allerton FJ, Leemans J, Tual C, Bernaerts F, Kirschvink N, Clercx C: Correlation of bronchoalveolar eosinophilic percentage with airway responsiveness in cats with chronic bronchial disease. *J Small Anim Pract*, 54,258-264 (2013)
- 4) Nafe LA, DeClue AE, Lee-Fowler TM, Eberhardt JM, Reinero CR: Evaluation of biomarkers in bronchoalveolar lavage fluid for discrimination between asthma and chronic bronchitis in cats. *Am J Vet Res*, 71,583-591 (2010)
- 5) Hawkins EC, DeNicola DB, Kuehn NF: Bronchoalveolar lavage in the evaluation of pulmonary disease in the dog and cat. State of the art. *J Vet Intern Med*, 4,267-274 (1990)
- 6) Cohn LA, DeClue AE, Cohen RL, Reinero CR: Effects of fluticasone propionate dosage in an experimental model of feline asthma. *J Feline Med Surg*, 12,91-96 (2010)